## 【会計からの報告】

山田健二(高27回)

平成25年度一般会計では、会費は前年度並みで目標の千名・２００万円は未達でした。会員を増やすとともに会費未納入の会員の方に、同窓会活動の意義・楽しさを伝え、会費納入をお願いする活動も重要です。

高校生活を振り返ると福高祭、体育祭等の行事がすぐに浮かんできます。関わり方は人それぞれですが、その度合いが深い程、得た感動も深かったのではないでしょうか？生徒の時代に行事への関与が少なくもったいないことしたなとお思いの方、当同窓会には様々な企画があり、また百周年記念行事も企画予定です。一歩前に出て各種企画に関わってみませんか？

企画参画を通じ各学年の同窓会が盛り上がり、引いては会費増収に繋がることを期待しています。

**東京福中福高同窓会**
**平成25年度　一般会計決算報告書**

金額(円)

| 収入の部 | 決算 | 支出の部 | 決算 |
|---|---|---|---|
| 前期繰越金 | 3,521,214 | 総会会場費 | 300,000 |
| 会費 | 1,770,000 | 総会案内発送費 | 367,242 |
| 広告料 | 420,000 | 常任幹事会会議費 | 513,443 |
| 懇親会費(参加者負担分) | 175,000 | あさぼらけ作成費 | 716,250 |
| 特別会計より | 217,035 | ホームページ維持費 | 50,185 |
| その他(受取利息) | 358 | 積立金 | 150,000 |
| | | 雑費 | 154,479 |
| | | レンタル倉庫費 | 126,000 |
| | | 他 | 89,241 |
| | | 小計 | 2,466,840 |
| | | 次期繰越金 | 3,636,767 |
| 合計 | 6,103,607 | 合計 | 6,103,607 |

**平成26年度　特別会計決算報告書**

金額(円)

| 収入の部 | 決算 | 支出の部 | 決算 |
|---|---|---|---|
| 一般会計より会場費 | 300,000 | 会場費 | 2,653,486 |
| 参加費 | 3,455,000 | 企画経費 | 485,611 |
| その他 | 167,005 | 進行経費 | 204,247 |
| | | 動員経費 | 111,537 |
| | | その他経費 | 173,562 |
| | | 小計 | 3,628,443 |
| | | 収益 | 293,562 |
| 合計 | 3,922,005 | 合計 | 3,922,005 |

## 【会員拡充委員会】

新谷康之(高35回)

当委員会では、特に若手の同窓会会員の拡充のため、若手同士の交流会や各回のサポート等を「できることを」「できるところから」「できるだけ」実行する方針で進めています。

平成26年度は新たな取組として、10月に当同窓会独自の「就活を応援する会」を当委員会の主催で都内にて開催しました(詳細は7頁をご参照ください)。

また、27年2月には、一昨年や昨年に引き続き、東京福岡県人会主催「就活を応援する会」に参加しました。福岡県立の各校同窓会と連携し学校の枠を超えて、就職活動に臨む学生たちを支援する活動を行いました。これらの取組は、学生参加者と社会人参加者の双方から好評で、今後もこのような若手会員をはじめ多くの会員拡充につながる取組を進めていきたいと考えています。

## 【広報委員会】

齋藤利久(高16回)

当委員会の仕事は文字どおり東京同窓会を卒業生の皆様に広く報せることです。しかし、残念ながらその役割を十分に果たしているとはいえません。本号の寄稿記事にもあるように、同窓会の存在すら知らない方がまだ多数います。

また、同窓会は福岡の同窓会の支部ではなく、東京近傍在住の同窓生の任意参加で運営されており、同窓生の自主的参加がなければ成り立ちません。

当委員会は毎年会報として「東京あさぼらけ」を発行し、社会で活躍する同窓生の動静などを紹介しています。ホームページによる広報活動も行っています。さらに、近年盛んになりつつあるフェイスブックの活用を図っています。

東京あさぼらけの編集部には各世代の同窓生が参加しており、昨年は3名の新しい仲間を迎えました。編集部はまだまだ多数の人材を必要としています。皆様のご参加をお待ちしています。

## 【企画委員会】

河津明信(高33回)

若い世代への継承をテーマとして、活躍されているＯＢを招き、毎年福高塾を開催しています。横の繋がりとともに世代を超えた縦の繋がりが、同窓会活動をさらに発展させていくと信じています。そのためには先輩後輩同級の枠を超えて有機的な人的ネットワークを充実させるマンパワーが必要です。福高は伝統を守りつつも、新しい時代に即応してリーダーシップを発揮できる人財を輩出している歴史があります。

特にこれからの若い世代には、単に知識のみではなく答えのない中でリーダーシップを発揮できるよう、自ら行動し物事の本質を洞察できる経験を積んでいってもらいたいと思います。母校を自慢するのではなく、母校から自慢されるような人を目指して日々を有意義に過ごしてもらいたいと思います。

## 【総務委員会】

鉢嶺　秀樹(高30回)

当委員会の業務の一つが名簿管理です。２０１４年度も、４月の総会・懇親会での半券情報を基に、山田会計担当と有志の協力を得て、名簿更新を行いました。また今回から、部活ＯＢ会や同好会の結成・拡充にも利用してもらえるよう、出身中学、部活動の情報も追加しました。

ご利用希望の方は、学年常任幹事から総務委員へ、あるいははウェブサイトの「お問い合せ」バナーから、ご連絡ください。その際は、「利用責任者」「(具体的)利用目的」「利用方法」を明記ください。個人情報であり、慎重に管理していますが、せっかくの情報を眠らせていては意味がありません。会員相互間の親睦を深めるため、皆さまの積極的な活用をお願いします。

## ＊＊＊編集後記２＊＊＊

◆平成２年に現在の東京同窓会がスタートしました。会則や名簿が整い第１回目の総会が開催されています。当時と比べ同窓会に対するニーズも活動も変化しています。再来年に迫った母校百周年という節目に当同窓会の目的や活動、組織を見直すのもいい機会だと思います。(古賀芳和・高29回)

◆今回は森監督と20回の加藤保さんの記事を担当しました。更に「２の回」当番幹事会で総会・懇親会に向けて準備中。「よか先輩ば紹介しちゃーぜ」をテーマに若者が参加しやすい同窓会懇親会にしようと奮闘中です。若い幹事の素晴らしい発想・企画・行動力に感心しました。(上田将文・高22回)

◆今回初めて編集作業に参加、巻頭の荒牧先輩のインタビューの撮影をお手伝いしました。各方面で活躍される先輩方の話を“直接聞ける”ことの楽しさが、あさぼらけ編集の醍醐味と…あまりハマり過ぎるとキケン!? かも。(森崇王・高43回)

◆昨夏10数年ぶりにヨーロッパ方面(スコットランド)を旅行し、以前よりは成長した自分に出会いました。ウィスキーがよい樽の中で熟成するように、これからもよい環境の中で成長できることを願います。がんばれ、樽。(岩瀬智子・高39回)

◆今年の東京同窓会の当番幹事は２の回です。昨年東京同窓会に初めて参加し、今年は当番幹事として参加することになりました。幹事としての参加はまた奥深いですね。すべてのことに感謝しつつ、みなさんと多くのものを共有できたら。(細川陽子・高52回)

◆一昨年は福高塾の講師としてペップトーク(モチベーションアップ)の話をする機会をいただき、昨年は編集委員に加えていただきました。卒業して30年あまり、こうして母校に縁のある方々との密な交流ができることに対し、深い喜びと感謝の気持ちを抱いています。(占部正尚・高33回)

◆「福高が大好き」この言葉ほど同窓会の本質をついたものはない。創立百周年を迎える同窓会活動の合言葉としたい。編集部は新たに3名を迎えてもなお手薄。皆さんの参加が待たれる。(齋藤利久・高16回)